

令和5年度事業報告並びに収支決算承認について

令和5年度 事業報告

はじめに

令和5年の3月の平均気温は、平年と比べて平年比約2℃高く推移したことから、一番茶萌芽日は、京都府茶業研究所における観測史上最速（昭和48年観測開始）の3月28日（平年比7日早い）となりました。このため、全農京都茶市場の初取引は4月16日と、茶市場開設以来最も早いスタートとなりました。

生育状況については、3月下旬の新芽始動直後は芽立ちが良く豊作を期待されましたが、取引開始後の気候が昼夜の寒暖の差が激しく芽の伸長に格差を及ぼし減産傾向となりました。

一方、アフターコロナ、インバウンド需要の回復、輸出の拡大等の需要を見据え、全茶種において強含みの堅調な価格での取引となりました。こうした中で、令和5年の総販売金額は40億円を超え、総平均取引単価は前年比11.2%となりました。

5月8日には新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になりましたが、生産者の皆様には感染拡大防止対策も意識しながら、全国・関西茶品評会への出品に取り組んでいただきました。「第75回関西茶業振興大会」では、従来の府県開催ではなく当会議所が事務局となっています関西茶業協議会が主催する異例の大会となりましたが、出品、運営に協力いただき、品評会を盛り上げていただきました。さらに、普通煎茶、かぶせ茶、玉露、てん茶の4部門において、農林水産大臣賞と産地賞を獲得することができました。加えて、「第77回全国お茶まつり福岡大会」では、かぶせ茶、てん茶において農林水産大臣賞と産地賞を獲得されるなど全国トップレベルの高品質茶生産技術と宇治茶産地の名声を堅持されたところです。

また、京都の流通業者の皆様には、常に京都府産茶の購入・販売を第一に取り組み、宇治茶ブランドの維持・発展に貢献いただいているところです。

こうした中、茶業会議所では新型コロナウイルスの感染状況に応じた対策に配慮しながら、恒例の「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」は有料による定員制の導入、大型ショッピングモールにおける体験ワークショップの実施や宇治茶振興助成事業による宇治茶の普及への支援を通じて、多くの消費者の皆様には「宇治茶の魅力」を発信してきたところです。さらには「プレミアム宇治茶認証制度」に基づく「プレミアム手摘み玉露」、「プレミアム玉露」、「プレミアム煎茶」を認証し、ブランド価値を高める取組みを進めました。

令和5年産茶の生産並びに流通・販売概況

1 令和5年の気象推移と府内産茶の生産・取引状況

（情報提供：全国農業協同組合連合会京都府本部農畜産部茶業市場課）

- (1) 令和5年は、3月の平均気温は、平年と比べ高く推移したことにより一番茶萌芽日は平年より7日早い3月28日と昭和48年年以降で最も早い萌芽宣言となりました。このような生育状況を受け、全農京都茶市場の初取引は4月16日と、茶市場開設以来最も早いスタートとなりました。アフターコロナ、インバウンド需要の回復、輸出の拡大

等の需要を見据え、全茶種において強含みの堅調な価格での取引となりました。

生育状況については、3月下旬の新芽始動直後は芽立ちが良く豊作を期待しましたが、取引開始後の気候が昼夜の寒暖の差が激しく芽の伸長に格差を及ぼし減産傾向となり、1番茶の総数量は757tと前年比98%となりました。

ただし、品質としては、早期摘採、早期遮光の実施により総じて良質な茶が出品されていきました。一部に古葉が混入した茶や蒸不足を感じる茶がありました。

相場展開としては、内質重視で価格差は大きくなりましたが、全てのランクにおいて強含みでの取引となり、1番茶の取引平均単価は3,928円、前年比116%と令和3年度より3年連続で前年を上回る取引単価となりました。

2番茶は高温多湿による病虫害被害や被覆による日焼け等が懸念される中での取組みとなりました。もみ茶は早期摘採により一定の品質が維持されたことと減産であったことにより堅調な価格での取引となりました。てん茶は、1番茶の取引状況と需要動向により高値での取引となりました。2番茶の平均取引単価は2,515円、前年比115%となりました。

(2) 一番茶の茶種別流通・販売状況

ア 煎茶：

萌芽日も早く摘採遅れを懸念しましたが、早期の始動によりミル芽摘採された茶が多く上場されていきました。外観が冴えて濃厚な味わい・宇治茶らしい香気を持ち合わせた良質茶は高値で取引されました。また、減産傾向であることから最後まで堅調な価格で取引されました。

結果は前年比で、数量で76%、平均単価で120%となりました。

イ 玉露：

手摘み玉露は、形状並びに内質の良い上級品が多く出品され、堅調な価格で取引されました。また、最後まで摘み遅れを感じる茶はわずかでした。しかし、滋味について少し淡泊を感じる茶が散見されました。

鋏摘み玉露は、手摘み玉露同様に堅調な価格で取引されました。終盤には摘採遅れを感じる茶が散見されましたが、全体的に上質な茶が出揃っていました。

結果は前年比で、手摘み玉露は数量で107%、平均単価で105%、鋏摘み玉露は数量で96%、平均単価で116%となりました。

ウ かぶせ茶：

早期の取組みにより、全体的に形状の良い、覆い香味も兼ね備えた水色の良い良質茶が多く上場され堅調な価格で取引されました。一部に覆い不足を感じる茶、水色に欠点を持つ茶や摘採遅れの茶については低い評価となりました。

結果は前年比で、数量で88%、平均単価で114%となりました。

エ てん茶：

宇治てん茶は、全体的に上質な茶が多く上場されていました。外観とから色の冴えがあることを前提に滋味と香気の濃い製品が堅調な価格での取引となりました。ごく一部で覆い不足、雑ぱくを感じる茶が散見されました。

初茶てん茶は、全体的に上質な茶が出揃ったこと、需要が拡大傾向であることにより堅調な価格での取引となりました。特に宇治茶らしい外観とから色が冴え、滋味が濃厚な茶は高値で取引されました。

結果は前年比で、宇治てん茶では数量で76%、平均単価で116%、初茶てん茶では数量で109%、平均単価で115%となりました。

(3) 二番茶の茶種別流通・販売状況

ア 煎茶：

一番茶の生産量と価格を背景に堅調な価格での取引となりました。しかし、品質格差による選択買い傾向は強く、良い形状で滋味の濃い製品は高値で取引されました。一方で、外観が大型化やアメ色である製品、水色の赤み、苦渋味を感じる製品については、引き合いが弱くなりました。数量は、前年に比べても大きく減少し56tとなりました。

結果は前年比で、数量で87%、平均単価で105%となりました。

イ かぶせ茶：

煎茶（二番茶）と同様に一番茶の生産量と価格を背景に堅調な価格での取引でした。また、品質格差による選択買いの傾向は強かったものの、適期摘採され形状並びに色沢の良い上質な製品の割合が多くなりました。数量は、てん茶（二番茶）への茶種移行もあり、14tと前年に引き続き大きく減産となりました。

結果は前年比で、数量で84%、平均単価で113%となりました

ウ てん茶：

初茶てん茶の取引状況を背景に終始堅調な価格での取引となりました。製品格差によりクラス分けが行われますが、各クラス共に引き合いは強くなりました。特に下級品の出回り量が少なく引き合いは強くなりました。クラス分けの要素は、から色の染まり具合を基本に滋味の濃い製品は上級クラスとなり、染まりが悪い、病虫害被害等による葉傷み、萎凋、ムレを感じる製品は下級クラスとなります。例年に比べ上級品の割合が少なくなりました。数量は254tと増産傾向となりました。

結果は前年対比で、数量で109%、平均単価で112%となりました。

- (4) 秋番茶はすべて受注生産の相対取引となりました。需要としては茶系飲料の小売価格の値上げにより消費が落ち込んだ状況での取引となりました。また、全国相場は下落傾向の中、電気、ガス、燃料、人件費などの生産コスト上昇に伴う価格転嫁を求めた交渉となり、販売数量は減少しました。取引単価については、価格転嫁できた分上昇し、前年比約108%の価格（数量79%）での取引となりました。

秋てん茶もすべて受注生産の相対取引となりました。1番茶並びに2番茶の取引状況を反映し需要が拡大しました。また、取引単価は、秋番茶同様に生産コストの上昇に伴う価格転嫁を求めた結果、前年比約103%の価格（数量126%）での取引となりました。

(5) 全農京都茶市場における令和5年産の一番茶及び二番茶以降の取扱実績は、取引数量は1,685t（前年度1,643t）となり、前年に比べて102%増となりました。

また、取扱い金額では、41.2億円（同35.9億円）となり、前年に比べて15%増となりました。

(6) 令和5年度府内産茶の生産・販売状況は、茶園面積は1,505ha（前年度1,525ha）となり前年比99%でした。しかし、荒茶総生産量は、2,427t（同2,394t）で前年度に比べて101%となり、生産金額も71.7億円（同67.8億円）で前年度に比べて106%となっています。

〔京都府産茶の生産・流通状況等に関する資料（旧京都府茶業統計）〕

2 全国の生産・流通状況

ア 令和5年の全国レベルの荒茶生産量は、主産県計68,000t（前年69,900t）で、前年産に比べて1,900t(3%)減少しました。

主産府県の内訳は、静岡県27,200t（前年産比5%減）、鹿児島県26,100t（同2%減）、三重県5,220t（同1%減）、宮崎県2,940t（同2%減）、京都府2,640t（同2%増）、福岡県1,750t（前年産比同）の順となっています。

〔農林水産省大臣官房統計部調べ〕

イ 一般家庭での緑茶（リーフ）消費は、年間購入量676g（前年実績701g、前年比4%減）、消費支出金額3,214円（同3,263円、前年比2%減）と前年に比べて減少し、ピーク時の消費量（平成10年の1,284g）に比べると、大幅に減少（平成10年比608g減、47%減）しています。〔総務省家計調査〕

一方、令和5年の緑茶ドリンクの生産量は、292万kl（前年実績295万kl、前年比3万kl減）となりました。〔日刊経済通信社調査〕

ウ 日本緑茶の令和5年の輸出量については、7.579t（前年6,266t）となり、前年比1,313t、21.0%増となり、輸出の好調さがうかがえます。

また、令和5年輸入量は3,108tとなり、前年(3,088t)に比べて、20t、0.6%増加しています。〔財務省貿易統計〕

A 実施した3つの重点課題と事業種目

①高品質で、安心・安全な宇治茶づくりとブランド産地の育成 ②宇治茶の歴史、伝統文化の継承、保存 ③宇治茶の普及啓発事業の強化を3つの重点課題とし、これらを達成するため、次のとおり事業展開を図ってきています。

事業名	事業区分（事業目的）
I 宇治茶文化保存事業	1 宇治茶文化の理解促進事業 （日本緑茶を楽しみ、味わう本来の喫茶習慣の普及と宇治茶文化に対する理解促進を図る）
	2 宇治茶保存事業 （宇治茶の歴史・文化の継承と理解促進を図る）
II 宇治茶振興事業	1 宇治茶生産と品質維持・向上対策事業 （安心・安全で信頼性の高い宇治茶の生産安定を図る）
	2 宇治茶の普及啓発事業 （多彩な宇治茶づくりのイベントを開催し、宇治茶の普及啓発を図る）
	3 宇治茶振興を目的とした宇治茶会館等の貸与 （宇治茶の振興を目的とするイベントや催しを実施する場として宇治茶会館・京都府茶業会館の貸し出し）
III 宇治茶振興に対する助成事業 （他団体で実施することにより、宇治茶と宇治茶文化の普及発展が見込まれる事業）	1 公募方式により事業助成する事業
	2 選考の上、助成する事業

B 事業の実績

【I 宇治茶文化保存事業】

1 宇治茶文化の理解促進事業

（1）宇治茶ふれあい教室の開催

京都府内の小学校、支援学校、福祉施設等を対象に、授業の一環として、「宇治茶ふれあい教室」を実施し、宇治茶による「食育」を推進しました。内容は下記のとおりです。

- ①茶香服（お茶の種類当てゲーム）、②お茶の飲み比べ、③お茶の淹れ方（玉露・抹茶）、④ビデオ鑑賞、⑤宇治茶の種類・効能について、⑥仕上げ加工の実演、⑦石臼体験、⑧茶摘みの体験、⑨ホットプレート製茶等。 【開催実績：17件、参加人数478名】

（2）「宇治茶大好き！キッズ茶ムリエ検定」の開催

「宇治茶大好き！キッズ茶ムリエ検定」の開催京都府山城広域振興局との共催により、次代を担う子供たちに宇治茶に対する理解を深めることを目的に、小学生（3～6年生）を対象に、「宇治茶大好き検定」、「お茶の飲み分け検定」等を実施しました。

- 【開催実績：○ 開催場所… 10月22日(日) 宇治茶会館(宇治市)
11月11日(土) 田辺福祉センター(京田辺市)
12月 2日(土) アスピアやましろ(木津川市)
○ 回数、参加者数… 3回、100名】

(3) 宇治茶の淹れ方体験学習の場「宇治茶道場「匠の館」」の運営

ア 令和5年度は、5月に新型コロナウイルスが5類感染症に位置付けられたことから、観光客の数が増加し、さらにインバウンドの急増により外国人来客者数がコロナ禍前を上回るなど、来客者数、売上とも大幅に上昇しました。

令和5年度の入込状況は、喫茶部門6,058名(前年度3,660名)、淹れ方教室170名(同133名)、茶香服85名(同75名)、抹茶アート208名(同133名)となりました。

イ 「匠の館」では喫茶メニューとして「宇治玉露」、「宇治抹茶」、「宇治煎茶」を提供していますが、自宅用やお土産としていただくために、来客者に対して茶販売を行っており、好評を得ているところです。

(4) 国内外での宇治茶の情報発信

ア 京都府知事から委嘱された「宇治茶伝道師」の皆様と協調して当会議所では京都府民や京都を訪れる国内外からの観光客等に対して、宇治茶の歴史・文化や美味しい宇治茶の淹れ方など、情報発信に努める活動を展開しています。

宇治茶伝道師名簿(10名)[順不同、敬称略] (令和4年11月29日委嘱)

堀井長太郎(会頭 / 茶商工業者)、吉田利一(副会頭 / 生産者)、
中田義孝(理事 / 生産者)、仲井敏雄(理事 / 茶商工業者)、
藤井孝夫(理事 / 大学教授)、村田範子(日本茶インストラクター)、
川邊佳秀(京都府茶業連合青年団員)、大西美佳(日本茶インストラクター)
小嶋秀子(日本茶インストラクター)、小山茂樹(茶商工業者)

(5) 宇治茶の食育教材「宇治茶大好き」、「みんなでお茶しようね」の無料配布

小中学校等低年齢層や一般の消費者に対して、宇治茶の美味しさ、効能等に関する理解を促進するため、申請に応じて、宇治茶の食育教材「宇治茶大好き(日本語版・英語版・中国語版)」、童話絵本「みんなでお茶しようね」を無料配布するなど、茶育を推進しました。

【配布実績：宇治茶大好き 36件、2,932部
みんなでお茶しようね 6件、328部】

2 宇治茶保存事業

(1) 第20回宇治茶製法手もみ技術競技大会の開催

令和6年3月1日(金)に宇治茶会館において第20回宇治茶製法手もみ技術競技大会

を開催し、京都府宇治茶製法手もみ技術保存会連絡会議会員4団体11チームが参加しました。審査員には、京都府茶業研究所長等の3名が当たり、厳正な審査の結果、和東茶手揉技術保存会が優勝杯（会議所会頭杯）を獲得されました。

(2) 全国手もみ茶振興会主催行事への参加

ア 第31回全国手もみ茶品評会への出品

15都府県から114点の出品があり、京都府からは3つの地域保存会（京田辺、宇治田原、南山城村）から5点の出品を行いました。

イ 第27回全国手もみ製茶技術競技大会への参加

令和5年11月16日(木)に静岡県藤枝市のいきいき交流センターで開催された第27回全国手もみ製茶技術競技大会には、全国14都府県から23チームが出場するなか、京都府からは4つの地域保存会（宇治、京田辺、和東、南山城村）から4チーム12名が出場し、和東茶手揉技術保存会が1位（最優秀賞）、南山城村茶手もみ技術保存会が3位（優良賞）を獲得する快挙となりました。

(3) 宇治茶の世界文化遺産登録を目指す取組みについて

ア 文化庁に対する提案書（令和4年度改定）

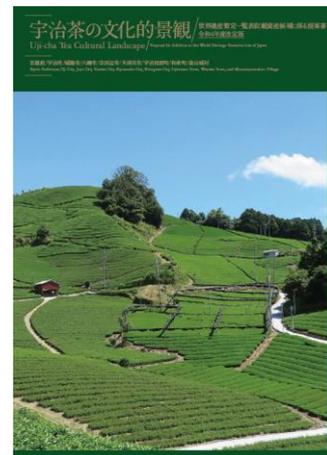
■ 提案コンセプト

① 資産名称 宇治茶の文化的景観

Uji-cha Tea Cultural Landscape

② 本資産の顕著な普遍的価値（OUV）

(ア)「抹茶」、「煎茶」、「玉露」に代表される日本の緑茶は、中国では途絶したとみられる「蒸し製法」と粉末茶に湯を注いで飲む喫茶法及び茶を湯に浸してエキスを飲む喫茶法が、京都府南部の山城地域で生まれた「覆下栽培」と「宇治製法」という生産技術によって日本独自の緑茶へと進化したものである。宇治茶の文化的景観は、日本の緑茶という固有の文化的伝統の起源であり、その伝統的な生産のあり方が現在に継承されている。



(イ) 宇治茶の生産は、山城地域の自然環境条件を活かしつつ、日本独自の生産技術及び流通・消費条件によって、茶園、茶工場、茶問屋等からなる独特の土地利用と景観を形成している。その土地利用と景観は、生産に関わる技術革新と合理化により、有機的に進化を遂げつつ現在に継承されており、日本の緑茶生産に関わる土地利用と景観を代表する例である。

(ウ) 宇治茶は日本人の日常生活の喫茶文化として根付くとともに、「茶の湯」「煎茶道」という社会の特徴は、文化的、思想的に強い影響力を持つ固有の喫茶文化の形成に寄与してきた。

以上のように「宇治茶の文化的景観」は、日本の緑茶という固有の文化的伝統の起源とその生産方法の継承、その生産に関わる土地利用と景観の代表例、喫茶文化への寄与、の各点において顕著な普遍的価値を有する資産である。

■ 提案書の改定概要

本提案書は、平成26年3月に作成したものを、宇治茶文化的景観等調査研究会議による調査結果を反映し、金田章裕京都大学名誉教授を座長とした有識者会議の意見を踏まえて改定を行い、文化庁へ提案しているものです。今回は平成29年度以来の4回目の改定となり、文章、構成、レイアウトを全面的に見直し、変更しました。

<主な改定内容>

第1章 本資産の概要

以下の視点を新たに強調し、記述されました。

- ・宇治茶の生産面だけでなく流通面にも日本茶を代表する特徴があり、生産から流通に至るまでの景観を一体的に「宇治茶の文化的景観」として捉える。
- ・小規模小ロットによる茶生産と荒茶の多様性が宇治茶の安定した品質を支えており、茶園景観の多様性にその特徴がよく表れている。
- ・生産者と茶問屋の「相対」による直接取引に見られる密接な関係性が宇治茶の品質を支えている。
- ・宇治茶は支配者層から一般庶民に至るまで、日本固有の緑茶による喫茶文化の形成に大きく寄与した。

第2章 本資産の歴史と発展

以下の視点を新たに強調し、記述されました。

- ・製茶技術の機械化は手揉みである「宇治製法」を精巧に機械へ移行したものであり、機械化により「宇治製法」が全国へ普及した。

第3章 文化的景観の構造と構成資産

- ・構成地域ごとに、「地理」「歴史」「景観」の各視点から詳細な記述を加え、各構成地域の本資産における価値、位置づけをより明確にした。

第4章 本資産の現状と保存活用

- ・近年の保存活用の取組み（「お茶の京都」、各市町村）に基づき、資産の保存活用に関する記述を充実させるとともに、周辺環境の保全など本資産が抱える課題を明確にした。

第5章 世界遺産への妥当性

- ・「世界遺産条約履行のための作業指針（2013年）」に基づき、実際の世界遺産推薦書に沿った項目で、本資産の「OUV（顕著な普遍的価値）」「真実性（オーセンティシティ）・完全性（インテグリティ）」を記述。
- ・近年の調査研究や、宇治茶が日本茶の代表として参画したイコモス主催のテーマ別研究「The Landscapes of Asia」の成果（2021年発表）に基づき、国内・国外の類似資産と比較し、本資産の唯一性を強調。

イ 「宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォーム」の取組みについて

「宇治茶の文化的景観」の暫定リスト入りを目指して、「宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォーム」の一員として、次のとおり情報発信や府民の理解醸成に努めました。

○ 茶育事業「山城のたから授業」の実施

山城地域の小学校15校において、小学3～6年生を対象に実施。

○ 宇治茶ファンミーティング「宇治茶LOVE茶会in南山城村」の開催

令和6年1月27日(土)、参加者21名(定員25名)

(参考) 宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォームの概要

平成25年度に文化庁に対する提案書づくりに合わせて、宇治茶の世界文化遺産登録を目指す戦略づくりを目的とし、茶業関係者、大学研究者等の多彩なメンバーが一体となった地元推進組織として設置。

代表：森京都文教大学学長 事務局：京都府、当会議所

ウ 宇治茶の世界文化遺産登録の推進に向けたその他の取組み(京都府、京都文教大学)

○ 宇治茶の文化的景観地域フォーラムin南山城村

【開催日】令和5年12月14日(木)

【開催場所】南山城村文化会館 やまなみホール

【内容】講演、パネルディスカッション

【参加者】64名(定員200名)

○ 宇治茶の文化的景観地域フォーラムin木津川市

【開催日】令和6年2月11日(日)

【開催場所】木津川市山城総合文化センター(アスピアやましろ)

【内容】講演、パネルディスカッション

【参加者】105名(定員150名)

エ 神社仏閣での献茶祭について

宇治茶の歴史、文化を今に伝える文化的な儀式である神社仏閣が行う献茶祭は、一般市民、観光客が実際に宇治茶を味わい、宇治茶の伝統文化に触れ、宇治茶文化に対する国民の理解促進になることから積極的に支援し、その継承に努めました。

○ 令和5年 5月 3日(水・祝) 平安神宮献茶

○ 令和5年11月 8日(水) 高山寺献茶式

○ 令和5年11月26日(日) 北野天満宮御茶壺奉献奉告祭

(4) 高山寺茶園(日本最古の茶園)の管理

宇治茶発祥の地「高山寺茶園」について、当会議所、宇治市茶生産組合を中心に、京都府、宇治市、宇治茶愛好家等の指導、協力を得て4回(7月19日(水)、9月14日(木)、10月26日(木)、令和6年3月26日(火))の管理を実施しました。

(5) 宇治茶関連資料の収集・整理

京都府茶業会議所の前身である京都府茶業組合取締所が明治17年に設立され、爾来130年余りが経過する中で、その膨大な会議所の資料や宇治茶に係る古い記憶等の収集・整理に取り組み、一定、会議所の資料を整理し、順次適宜、整理等を進めたところです。

(6) 宇治茶会館における宇治茶文化財の常設展示

宇治茶会館3階展示ホールにおいて、宇治茶関連文化財の常設展示を実施しました。

主な展示物：宇治茶まつり献茶道具（窯、茶碗等）、宇治の製茶図（レプリカ）

【Ⅱ 宇治茶振興事業】

1 宇治茶生産と品質維持・向上対策事業

(1) 消費者が安心して飲める安心・安全な宇治茶づくり対策

ア 宇治茶GAP〔農業生産工程管理手法〕の推進

宇治茶GAP推進協議会を推進母体として、行政、関係団体等が一体となった「宇治茶GAP」の支援・推進の取り組みが進められました。

当会議所では、推進協議会の一員として、府内の茶産地全体が揃って宇治茶GAP実践に取り組めるよう支援するとともに、一定レベルをクリアした宇治茶GAP実践者（製茶工場）からの申請に基づき、令和5年には上級5工場、初級81工場の承認を行ったところです。

なお、令和6年3月5日(火)には、宇治茶GAP生産者研修会を開催し、荒茶異物混入事故について理解を深めました。【出席者15名】

(参考) 宇治茶GAPの概要

- 1 対象者：府内の茶生産者・製茶工場
- 2 実践内容：自己点検の実施、改善指導。実践誓約書の提出、実践確認証の交付。
- 3 指導者：産地JA担当者、普及指導員、先進的農家
- 4 宇治茶GAPの承認制度

○ 対象者：一定の基準を満たした宇治茶GAPの実践者（製茶工場）

○ レベル：初級、上級の2級制。次の基準を満たす者・工場を承認。

レベル	承認基準	点検事項
初級	点検シートの必須項目100%	・1次点検、2次点検とも書類確認
上級	同必須項目100%+重要項目70%	・1次点検⇒書類確認+現地確認 ・2次点検⇒書類確認

5 宇治茶GAP推進協議会（平成27年1月設立）

京都府、京都府農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会京都府本部、京都やましろ農業協同組合等府内の産地JA、(公社)京都府茶業会議所、京都府茶生産協議会、京都府茶協同組合で構成。(会長：吉田利一京都府茶生産協議会長)

イ 令和5年度の府内産荒茶農薬残留分析結果について

全農京都府本部茶市場に出品された府内産荒茶のうち、一番茶、二番茶、秋番茶の煎茶、かぶせ茶、玉露、てん茶の4茶種から合計22検体について、本府において通常使用されている茶農薬を中心に、一斉分析検査（117項目）を実施したところ、すべての検査について、食品衛生法による残留農薬基準を上回るものは見られませんでした。

なお、結果概要については、当会議所ホームページに掲載しています。

ウ 「茶樹病虫害防除指針」に基づく清浄茶生産の推進

安心・安全な府内産荒茶を生産するため、京都府茶生産協議会と連携・協力して、「茶樹病虫害防除指針」に基づき、農薬の安全使用と農薬散布作業でのドリフト防止に万全を期すよう指導の徹底を図っています。

こうした安心・安全な宇治茶生産の取りみが高く評価され、府内産茶のブランド力向上に寄与しているものと考えられます。

(2) 京都府内地域別茶園品評会、茶品評会の奨励

京都府内の市町村、JAが開催する地域別の茶園品評会、茶品評会に対して、事前に開催される栽培、製茶技術向上研修会の開催を支援し、茶生産農家の技術向上を図るとともに、審査会に審査員を派遣しました。

また、品評会を後援するとともに、成績優秀者に対して会頭賞を贈り、府内における良質茶の生産奨励に努めました。

【令和5年度実績：後援数4件、会頭賞交付数27点】

(3) 2023年度京都府優良品種茶園品評会の開催結果

府内地区審査101点から選抜された41点の出品があり、11月に4日間の審査が行われました。幼木茶園の部、成木茶園・手摘みの部、成木茶園・機械摘みの部の3部門から、特に優秀な茶園が農林水産大臣賞を受賞しました。

また、褒賞授与式は令和6年2月15日(木)に宇治茶会館において開催されました。

・〔農林水産大臣賞〕 成木茶園・手摘みの部 寺川達也（宇治市）

(4) 第41回京都府茶品評会の開催結果

275点の出品となり7月4日(火)、5日(水)に宇治茶会館において審査が行われ、結果等については下記のとおりです。

また、褒賞授与式は令和6年2月15日(木)に宇治茶会館にて、農林水産大臣賞受賞者を始め成績優秀者や関係者出席のもと、執り行われました。

ア 出品点数

茶種	煎茶	かぶせ茶	玉露	てん茶	合計
点数	32	46	74	123	275

イ 入賞点数

区 分	煎 茶	かぶせ茶	玉 露	てん茶	合 計
1 等	2	2	5	7	1 6
2 等	3	6	8	1 4	3 1
3 等	6	7	1 2	1 6	4 1

ウ 一等等一席受賞者

- ・煎 茶の部〔農林水産大臣賞〕 中窪耕司（南山城村）
- ・かぶせ茶の部〔近畿農政局長賞〕 福井ヒデ子（綾部市）
- ・玉 露の部〔近畿農政局長賞〕 山下新貴（京田辺市）
- ・てん茶の部〔農林水産大臣賞〕 辻 航己（宇治市）

（5）第45回宇治茶品評会の共催

308点の出品となり、9月27日(水)に宇治茶会館にて開催の審査会の結果等については下記のとおりです。

また、褒賞授与式は10月18日(水)に宇治茶会館において行われ、農林水産大臣賞や各特別賞が交付されたほか、成績優秀者に会頭賞を贈りました。

ア 出品点数

茶種	玉 露	煎 茶	てん茶	合 計
点数	105	103	100	308

イ 農林水産大臣賞受賞者

- ・玉 露の部 株式会社丸久小山園
- ・煎 茶の部 共栄製茶株式会社
- ・てん茶の部 株式会社堀井七茗園

（6）第77回全国お茶まつり福岡大会及び第77回全国茶品評会の開催結果

第77回全国茶品評会は、18年ぶりに福岡県での開催となり、八女市のJA全農ふくれん茶取引センターにおいて開催され、京都府からは、煎茶、かぶせ茶、玉露、てん茶の4茶種で総数128点（前年度229点）の良質茶が出品され、44点が入賞しました。

また、かぶせ茶、てん茶の部で農林水産大臣賞を受賞し、産地賞についても舞鶴市（かぶせ茶）と宇治市（てん茶）が1位（優勝旗）を獲得されたほか、4市町が入賞するなど、見事な成績を収めることができました。

なお、出品点数、審査成績結果、産地賞及び特別賞受賞等は、次のとおりです。

ア 主催 全国茶生産団体連合会、第77回全国お茶まつり福岡大会実行委員会

イ 全国及び京都府茶種別出品点数並びに入賞点数

		普通煎茶		深むし 煎茶	かぶせ茶	玉露	てん茶	蒸し製 玉緑茶	釜入り茶	合計
		10k	4k							
出 品	総 数	104	110	102	105	117	111	101	82	832
	京都府	—	3	—	29	33	63	—	—	128
入 賞	総 数	31	33	30	32	35	33	30	24	248
	京都府	—	3	—	16	1	27	—	—	44

ウ 審査会及び京都府選出審査員

- ・期 日：令和5年8月22日(火)～25日(金)
- ・場 所：JA全農ふくれん茶取引センター（八女市）
- ・審査員：20名

審査長 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
 果樹茶業研究部門 茶業研究領域長 佐藤安志
 京都府選出審査員 京都府茶業研究所 所長 神田真帆
 京都府茶生産協議会 参与 加藤英幸

エ 入賞点数（1～3等、京都府関係分）

	普通煎茶(4kg)				かぶせ茶				玉露				
	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	
総 数	6	11	16	33	5	11	16	32	7	12	16	35	/
京都府	0	0	0	0	5	7	4	16	1	0	0	1	
	てん茶				合 計				入賞率（本府関係分4茶種）				
	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計					
総 数	6	11	16	33	24	45	64	133	30%（入賞数 / 出品数）				
京都府	6	9	12	27	12	16	16	44	33%（京都府入賞数 / 入賞数）				

オ 農林水産大臣賞受賞者（一等一席受賞者）

- ・かぶせ茶 菱田繁政（舞鶴市）
- ・てん茶 山崎省吾（宇治市）

カ 産地賞（1～3位、1位優勝旗）

- ・かぶせ茶 舞鶴市（1位）、綾部市（2位）、福知山市（3位）
- ・玉露 京田辺市（2位）
- ・てん茶 宇治市（1位）、久御山町（2位）

キ 第77回全国お茶まつり福岡大会 実施諸行事

- ・入札販売会
 期日：令和5年9月21日(木)
 場所：サザンクス筑後（筑後市）

- ・褒賞授与式、出品茶展示など
期日：令和5年10月28日(土)
場所：八女市民会館おりなす八女（八女市）
- ・茶消費拡大イベント（八女茶魅力発信イベント「八女茶の宴（えん）」）
期日：令和5年10月28日(土)～29日(日)
場所：小倉城庭園、リバーウォーク（北九州市）
福岡大名ガーデンシティ大濠テラス（福岡市）
- ・第40回全国茶生産青年茶審査技術競技大会、茶業青年の夕べ
期日：令和5年10月27日(金)
場所：JA全農ふくれん茶取引センター（八女市）
グランドハイアット福岡（福岡市）

（7）第75回関西茶業振興大会の開催結果

第75回関西茶業振興大会は、初の関西茶業協議会主催において開催されました。総出品点数331点のうち、京都府からは普通煎茶、かぶせ茶、玉露、てん茶による総数149点（前年度113点）の良質茶が出品され、64点が入賞しました。普通煎茶、かぶせ茶、玉露、てん茶で上位入賞を果たすとともに、産地賞（1位）を獲得することができ、一層、宇治茶銘柄を高揚することができました。出品点数、審査成績結果、産地賞及び特別賞受賞者は次のとおりです。

ア 主催 岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、奈良県、関西茶業協議会

イ 出品点数

茶種	普通煎茶	深蒸煎茶	かぶせ茶	玉露	てん茶	合計
総数	116	41	43	44	87	331
京都府	29	—	16	44	60	149

ウ 審査会及び京都府選出審査員

- ・期日：令和5年8月2日(水)～4日(金)
- ・場所：宇治茶会館（宇治市）
- ・審査員：24名

審査長 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

果樹茶業研究部門 茶業研究領域長 佐藤安志

京都府選出審査員 京都府茶業研究所 所長 神田真帆

〃 主任研究員 堤保三

京都府茶生産協議会 参与 加藤英幸

(関西茶業協議会) 会長 堀井長太郎

(関西茶業協議会) 工藤康將

(関西茶業協議会) 大原泰博

エ 入賞点数（1～3等、京都府関係分）

	普通煎茶				かぶせ茶				玉 露				
	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計	
総 数	6	14	18	38	2	6	7	15	2	5	5	12	
京都府	6	9	3	18	2	4	5	11	2	5	5	12	
	てん茶				合 計				入賞率（本府関係分4茶種）				
	1等	2等	3等	計	1等	2等	3等	計					
総 数	4	9	14	27	14	34	44	92	31%（入賞数 / 出品数）				
京都府	4	9	10	23	14	27	23	64	70%（京都府入賞数 / 入賞数）				

オ 農林水産大臣賞受賞者（一等一席受賞者）

- ・煎 茶 中窪耕司（南山城村）
- ・かぶせ茶 下岡清富（宇治田原町）
- ・玉 露 山下新貴（京田辺市）
- ・てん茶 青山大芽（宇治市）

カ 産地賞（1～3位、1位優勝旗）

- ・煎 茶 南山城村（1位）、和束町（2位）
- ・かぶせ茶 宇治田原町（1位）、綾部市（2位）、木津川市（3位）
- ・玉 露 京田辺市（1位）、宇治市（2位）、宇治田原町（3位）
- ・てん茶 宇治市（1位）、城陽市（2位）、久御山町（3位）

キ 第75回関西茶業振興大会実施諸行事

- ・出品茶入札販売会
期日：令和5年9月7日(木)
場所：宇治茶流通センター（城陽市）
- ・褒賞授与式、出品茶展示など
期日：令和5年10月～令和6年2月
場所：主催6府県の各地



第77回全国お茶まつり福岡大会



第75回関西茶業振興大会

(8) 出品奨励金及び特別報奨金の交付

第77回全国茶品評会、第75回関西茶品評会、第31回全国手もみ茶品評会への出品者を対象に出品奨励金並びに農林水産大臣賞受賞者及び1等賞受賞者へ特別報奨金を交付しました。また、全国手もみ茶品評会出品者には、1点当たり10,000円の出品奨励金を交付したところです。

なお、令和5年度は関西茶品評会を関西茶業協議会（事務局：当会議所）が主催することや前年の全国及び関西茶品評会での好成績を継続することで府内の宇治茶産地の活性化を図るため、多数の優秀なお茶を出品いただくことを目的として、京都府開催並みの全国及び関西茶品評会の出品奨励金を1点当たり20,000円としました。

さらに、第27回全国手もみ製茶技術競技大会では、「全国手もみ製茶技術競技大会特別報奨金」により、1位の和東茶手揉技術保存会に100,000円、3位の南山城村茶手もみ技術保存会に30,000円を交付したところです。

【総額 6,640,000円】

区 分	出品奨励金		特別報奨金 一等賞受賞		特別報奨金 農林水産大臣賞受賞	
	点数	金額(円)	点数	金額(円)	点数	金額(円)
全国茶品評会	128点	2,560,000	かぶせ茶 4点 玉 露 1点 てん茶 5点	300,000	かぶせ茶 1点 てん茶 1点	200,000
関西茶品評会	149点	2,980,000	普通煎茶 5点 かぶせ茶 1点 玉 露 2点 てん茶 3点	220,000	普通煎茶 1点 かぶせ茶 1点 玉 露 1点 てん茶 1点	200,000
全国手もみ茶品評会	5点	50,000				
全国手もみ製茶技術競技大会			1 位 1点 3 位 1点	100,000 30,000		
合 計	282点	5,590,000	23点	650,000	6点	400,000

(9) 「プレミアム宇治茶認証制度」の取組み

「プレミアム宇治茶認証制度」については、高品質茶のブランド価値を高めるため、京都府や関係団体と協力・連携して平成30年度に創設したところです。

本年度は、「プレミアム手摘み玉露」、「プレミアム玉露」、「プレミアム煎茶」合わせて計66点（計21業者）を認証するとともに、広報用パンフレットにより認証茶取扱店等を通じて制度をPRし、さらには、イベントでプレミアム宇治茶を使用してもらう取組みも行いました。

- 品質審査会 令和5年11月2日(木)
- 認証委員会 令和5年11月9日(木)
- 認証数等
 - ・プレミアム手摘み玉露 25点 (16業者)
 - ・プレミアム玉露 14点 (11業者)
 - ・プレミアム煎茶 27点 (17業者)



シンボルマーク

(10) アグリイノベーション創出事業の取組み

令和5年から3か年間、宇治茶の機能性成分の実用化を図るため、次の2課題について、研究にかかる経費を負担しています（令和4年から3か年、特定費用準備資金として各年度600万円積立て）。

ア 抹茶飲用による機能性成分「ポリアミン」等の肌理（きめ）改善

抹茶摂取後、頬や上腕内側で皮膚の状態が改善される傾向がみられたが、抹茶飲用の有無による明らかな効果は判然としなかった。次年度以降、さらに肌改善試験に取り組むとともに血液中のポリアミン等の含有量との関連を検証する。

イ テアニン、ポリアミン等の機能性成分が豊富な新品種育成

自然仕立てで若々しい組織に多いオーキシンの遺伝子発現が確認され、今後は、柔らかな新芽が維持され、ポリアミンなどの機能性成分が豊富な系統の選抜を進める。

(11) 「宇治茶ブランド拡大協議会」における産官連携研究活動の強化

宇治茶の高い品質維持を図るため、NPO法人京都・地球みらい機構と連携しながら、茶業団体、行政機関等で構成する「宇治茶ブランド拡大協議会(会長：森下康弘副会頭)」を設立し、「気候変動が宇治茶に与える影響」に関する実証試験等を実施するため、茶園における気象データの蓄積を図っています。

気象観測装置は、現在設置されている14台のうち、初期の設置機器は10年を経過した装置もあり、観測装置が必要のない「茶生育等予測マッピングシステム」(令和元年9月より京都府茶業研究所の事業でスタート)への移行を含めたトータルの活用を検証しています。

また、もう一つの活動の「宇治茶にまつわる古い記憶を再現プロジェクト」では、京都府茶協同組合並びに当会議所が所蔵しているアナログデータをデジタル化しデータベース化することで情報収集に取組み、事業紹介を展開しました。

(12) 輸出向け荒茶生産体制の整備

ア 海外での日本緑茶の優れた機能性に対する期待や和食の無形文化遺産登録等を背景に輸出は、令和5年の輸出額は292億円と過去最高を更新するなど、今後も一層の需要拡大が見込まれていますが、輸出先国（EU、米国、台湾等）の残留農薬基準をクリアできる生産体制を構築する必要があります。

イ このため、「日本茶輸出促進協議会（平成26年12月設立、全国茶業団体、京都、静岡、鹿児島茶業会議所で構成。会長：上川陽子（公社）日本茶業中央会会長）」の事業として、輸出向け茶の生産拡大を図るため、27年度から現地実証圃の設置や検討会を開催し、輸出先国の農薬基準をクリアする農薬使用体系の構築を進める中、残留農薬の検証の取組みを進めています。

今年度は計10圃場で農薬防除体系の構築検証等に取り組む、一定の成果を得たところです。

○ 現地実証圃場の設置

宇治田原町：3か所、和束町：2か所、南山城村：5か所

○ 現地実証圃での生産荒茶の農薬残留分析等

2 宇治茶の普及啓発事業

(1)「お茶の京都」づくりに対する協力

「お茶の京都博」の成果を引き継ぐため、「お茶の京都 Premium Green Fes.」を冠した山城各地の種々のイベントは、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことから、従来の開催に戻りつつあります。

当会議所の下記記載の「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」も「お茶の京都 Premium Green Fes.」の1つと位置付けて取組みました。

(2)「宇治茶カフェ」の利用拡大と新規店舗の認定促進

消費者の皆さんが淹れたての宇治茶を手軽に楽しむことができるよう、宇治茶の郷づくり協議会の一員として宇治茶カフェの認定制度に取り組む、冊子「宇治茶カフェ」を印刷・配布しました。

しかしながら、コロナ禍においてメニューの簡素化や人材不足により、本年度の新規登録は無く、認定店は減少しました。認定店38店舗（昨年41店舗）。

(3)「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」の開催

宇治新茶の始まりを告げる、恒例の「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」は、令和5年5月2日(火)に開催し、茶業センター茶園での「茶摘み体験」をはじめ、宇治新茶の淹れ方体験、宇治茶の手もみ実演等により参加者に宇治茶の魅力を伝えるとともに、全国に新茶シーズンの訪れを発信できました。【開催実績：参加者600名(定員600名)】

(4)「宇治茶ブランド新展開プロジェクト」の推進

「宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会」（平成29年12月設立）において、今後の消費拡大にとって重要である宇治茶の外食（特に和食業界）における有料での提供、一般消費者、外食事業者に対して新たな宇治茶の飲み方をPRし、宇治茶の消費拡大に取り組まれました。その一つとして、令和2年9月から販売が開始された「京都宇治玉露 玉兎」の普及促進においては、サンプル提供のキャンペーンやプロモーショングッズの作成・配付、展示会への出展等でPRと販売促進に取り組まれました。

また、宇治茶を飲む人の視野を広げることを目的に宇治茶機能性講座を開催しました。
(主な取組内容)

○「京都宇治玉露 玉兔」のプロモーション

■販売状況（令和5年4月～令和6年3月）

- ・販売本数49,896本（協議会買い上げ分含む）

■海外への販路開拓

- ・第7回“日本の食品”輸出EXPOへの出展
（令和5年6月21日(水)～23日(金)、東京ビッグサイト）
- ・Salon du Sake（フランスの酒類展示会）へのサンプル送付

■府内及び大都市圏への販売拡大プロモーション

- ・ミナト展示会への出展
（令和5年5月24日(水)、みやこめっせ）
- ・玉兔新規注文キャンペーンの実施
（令和5年6月1日(木)～7月1日(土)、期間内の新規注文業者に追加無料提供）
- ・第16回アグリフードEXPOへの出展
（令和5年8月23日(水)～24日(木)、東京ビッグサイト）
- ・京都文化交流コンベンションビューロー 会員の集いへの出展
（令和5年12月19日(火)、ホテルグランヴィア京都）
- ・国際ホテル レストランショーへの出展
（令和6年2月13日(火)～16日(金)、東京ビッグサイト）

■消費者向けプロモーション

- ・Meetz STORE（京都高島屋 T8）への出品（令和5年10月～）
- ・JR西日本ECサイト「DISCOVER WEST mall」への掲載（令和6年1月～）
- ・イベント等へのサンプル提供

■プロモーショングッズの作成

- ・玉兔専用グラスの作成

○宇治茶機能性講座（オンライン）の開催

開催日：令和5年10月14日(土)

参加者：110名

内容：第1部「ストレスとうまく付き合うための覆い下茶の飲用法」
第2部「運動疲労・筋肉づくりにおける抹茶の有用性」

(参考)「宇治茶ブランド新展開プロジェクト協議会」の概要

構成団体：(公社)京都府茶業会議所、京都府茶生産協議会、京都府茶協同組合、日本茶インストラクター協会京都府支部、京都府茶業連合青年団、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー、お茶の京都DMO、京都府
会長：京都府農林水産部副部長 事務局：京都府農林水産部農産課

(5) 大型ショッピングモールでの消費イベントの開催

「冷た〜い宇治茶体験」を9月16日(土)〜18日(月・祝)にイオンモール久御山において開催しました。

アフターコロナで試飲可能なイベントは4年ぶりとなり、「冷抹茶の体験コーナー」や飲み比べ体験の「宇治茶4種(玉露・かぶせ・煎茶・焙じ茶)の冷茶コーナー」、「石臼体験」などの体験型コーナーを実施し、約790名の参加がありました。

また、同ブースで試飲茶を手頃な価格で販売したところ、冷茶コーナー体験者149名にティーバッグ58個(500円/個)、抹茶体験者173名に10個(1,500円/20g)を販売し、宇治茶の魅力を大きく発信できました。

(6) 全国及び京都府内での市民、消費者対象イベントに対する協賛、協力

宇治茶の価値を理解いただくような普及啓発を進めるため、山城地域をはじめ、京都府内各地で実施された「伝説の茶農家・茶商によるプレミアム大茶会」、「宇治茶・山城ごちそうフェスタ」に協賛、協力しました。

(7) 「日本茶800年の歴史散歩〜京都・山城」の情報発信への協力・支援

「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」において「日本茶800年の歴史散歩〜京都・山城」(平成27年4月に「日本遺産(Japan Heritage)」に認定)について、宇治茶の味や香りとともに紹介しました。

(参考) 日本遺産(Japan Heritage)の概要

地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」に認定するとともに、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって、総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより地域の活性化を図るものとして、平成27年度に制度化。

(8) 宇治茶の知的財産保護への取組み推進

昨年度に「伝統宇治碾茶」の地理的表示(GI)登録制度への登録申請をしたところですが、その後、農林水産省からの申請資料に対する質問等への対応を続けています。

(参考) 令和6年5月16日(木)に農水省による現地確認と意見交換が行われました。

3 宇治茶振興を目的とした宇治茶会館及び京都府茶業会館の貸与

宇治茶会館及び京都府茶業会館は、茶業関係者はもとより広く消費者の皆さんに、宇治茶の振興や宇治茶文化の継承等に寄与するイベントや各種催しを実施する場として貸出を行っているところです。令和5年度も各種団体に合わせて宇治茶会館79回、京都府茶業会館68回のご利用をいただきました。

今後とも、宇治茶会館及び京都府茶業会館をより多くの方に知って貰い、一層宇治茶振興の場として活用いただけるよう努めることとしています。

本年度の利用実績は次のとおりです。

<宇治茶会館利用実績>

団体名	内 容	回数	公益	収益	法人
本会議所(京都府茶協同組合、京都府農産課との共催関係含む)	八十八夜茶摘みの集い、プレミアム宇治茶認証、GFP研修会等	24	6		18
京都府茶生産協議会	京都府茶品評会	8	7		1
京都府茶協同組合	販売会、宇治茶品評会等	7	7		
宇治茶の郷づくり協議会	運営委員会、総会	2	2		
京都府農林水産部農産課	宇治茶文化講座等	2	2		
京都府山城広域振興局	キッズ茶ムリエ検定等	7	7		
京都府茶業研究所	宇治茶アカデミー	1	1		
京都府立木津高等学校	手もみ茶研修	1	1		
日本茶輸出促進協議会	輸出向け実証圃設置事業検討会	1	1		
NPO法人日本茶インストラクター協会	一次試験	1		1	
第75回関西茶業振興大会	審査会等	2	2		
京都府茶業連合青年団	茶審査技術競技大会	1	1		
(一社)京都山城地域振興社	取締役会等	4		4	
日本茶インストラクター協会京都府支部	総会、茶香服大会	1	1		
宇治市茶生産組合	宇治市茶生産者大会等	2	2		
城陽市茶生産組合	茶品評会	1	1		
NPO法人こみねっと	スクール茶ムリエマスター講習会等	3	3		
その他	宇治茶振興に関する会議等	11	7	4	
	合計	79	51	9	19

<京都府茶業会館利用実績>

1 貸出等利用

団体名	内 容	回数	公益	収益	法人
サムライ茶人	日本茶ショー	12	12		
Jcotton	「花と茶」イベント	1	1		
(株)京都春秋	お茶講座	1	1		
茶楽会 京都産業大学白馬会	茶香服大会	1	1		
宇治茶祭奉賛会	宇治茶まつり副席	1	1		
NPO法人日本茶インストラクター協会	認定式	1		1	
当会議所	若手プレミアム茶会	3	3		
	合計	20	19	1	

2 喫茶等利用

団体名	内 容	利用回数
トマト日本(株)	喫茶	9
雲海ツアー	抹茶アート	2
枚方市立桜ヶ丘中学校など4中学校	喫茶	4
東京都立豊島高校	喫茶	1
京都府立城陽支援学校	抹茶アート	1
京都福祉専門学校	喫茶	1
東宇治退職教員互助組合	茶香服	1
香岳園製茶(株)	茶香服	1
(株)伊藤久右衛門	茶香服	1
その他団体(27団体)	喫茶、茶香服、抹茶アート	27
	合計	48

【Ⅲ 宇治茶振興に対する助成事業】

1 令和5年度宇治茶振興助成事業（公募方式により事業助成する事業）の採択結果

(1) ホームページを通じた公募

令和5年度宇治茶振興助成事業公募要領をホームページに掲載し、京都府内に所在する個人、団体を対象に「宇治茶の普及・啓発による地域の活性化」または「宇治茶文化の保存・継承、理解促進」に該当する事業を公募しました。

期 間：令和5年3月6日(月)～3月24日(金)

助成率：京都府内1市町村内又は京都府外のみ…採択した事業内容の事業費の2/3以内

助成率：京都府内2市町村以上は京都府外のみ…採択した事業内容の事業費の3/4以内

(2) 応募状況と選考結果

9団体から応募（申請総額5,718,000円）があり、学識経験者等で構成する選考委員会（森正美委員長ほか学識経験理事4名で構成）において、答申案を策定しました。

① 選考日：令和5年5月10日(水)

② 出席者：選考委員

③ 選考結果：承認団体は8団体、承認額は4,564,000円。

(3) 令和5年度宇治茶振興助成事業実施実績等について

実施実績については、下記に記載のとおりです。

なお、助成団体は8団体、交付確定額は計4,042,000円となりました。

○ 宇治市茶生産組合

事業名 宇治茶普及宣伝対策事業

事業内容 ① 普及宣伝事業 [アクトパル秋まつり(10/9)、近畿歴史まちづくりサミット(12/2)、うーちゃフェスタ(12/17)]

② 手摘み茶推進事業（茶摘み募集チラシの配架）

交付額等 交付額 444,000 円（決定額 587,000 円、申請額 587,000 円）

○ NPO法人和東ティー・フレンズ

事業名 ① 和東・茶会

② 【事業取下げ】木津川市学校教育機関での美味しいお茶の淹れ方教室

③ 【事業取下げ】国内外の消費者を対象としたお茶教室

事業内容 実施日：3月17日(日)、場所：和東運動公園一帯、参加者：216名

交付額等 交付額 111,000 円（決定額 412,000 円、申請額 412,000 円）

○ 京都文教大学

事業名 親子で楽しむ宇治茶の日2023

事業内容 ① 宇治茶スタンプラリーの実施

実施日：2月10日(土)～25日(日)、場所：宇治橋周辺

参加者：850名

② 宇治茶の淹れ方ワークショップ・茶香服体験の実施

[縁庵マルシェ(4/16)、宇治まきマルシェ(6/4)、京都文教大学オープンキャンパス(7/16、8/5-6、8/20)、みんなのき子ども園サマースクール(8/24)、伏見ふれあいプラザ(9/3)、まちにわワークショップ(9/24)、わんさかフェスタ(10/28)]等。

③ SNSを使った情報発信

交付額等 交付額 750,000 円（決定額 750,000 円、申請額 750,000 円）

○ 山城喫茶文化連盟

事業名 山城地域（相楽地域）喫茶交流茶会の開催

事業内容 実施日：11月11日(土)、場所：けいはんなプラザ、参加者：170名

交付額等 交付額 321,000 円（決定額 321,000 円、申請額 321,000 円）

○ NPO法人こみねっと

事業名 スクール茶ムリエマスター

事業内容 ①呈茶活動

・宇治茶イベント「茶 Café マスター」の開催

実施日：8月20日(日)、場所：中宇治BASE

参加者：マスター20名、来客50名

・その他イベント出展：

文化庁京都移転記念事業(9/9)、わんさかフェスタ(10/28)、宇治茶・山城ごちそうフェスタ(11/12)、STUDY KYOTO(12/16)、うーちゃフェスティバル(12/17)。

②茶業者の支援による学習活動

・「合組を学びオリジナル茶を作る」

実施日：6月25日(日)、場所：宇治茶会館、マスター参加者：21名

・「伝統の宇治製法を知り手もみ茶を作るワークショップ」

実施日：7月27日(木)、場所：宇治茶会館、マスター参加者：22名

③次世代のマスターを育成する

交付額等 交付額 280,000 円 (決定額 340,000 円、申請額 340,000 円)

○ 京都府茶業連合青年団

事業名 宇治茶喫茶宣伝事業

事業内容 宇治茶の無料接待や淹れ方教室、茶香服等の実施。事業数 31 [第72回宇治茶まつり(10/1、60名)、綾部産業まつり(10/1、180名)、北野大闘茶会(10/20、80名)、城陽茶まつり(11/3、300名)、たなフェス2023(11/3、50名)、道の駅南山城イベント(11/23、500名)]等、対象人数計6,021名。

交付額等 交付額 2,000,000 円 (決定額 2,000,000 円、申請額 2,000,000 円)

○ 南山城村茶業振興対策協議会

事業名 南山城村茶業振興対策事業 南山城村茶業者大会「お茶の日」

事業内容 ① 南山城村小学校児童全員(80名)へ煎茶の贈呈

② 小学校6年生対象のお茶の淹れ方教室の実施(参加者：80名)

交付額等 交付額 39,000 円 (決定額 39,000 円、申請額 39,000 円)

○ 山城茶業組合

事業名 日本遺産 上狛茶問屋街を中心とした宇治茶の宣伝事業

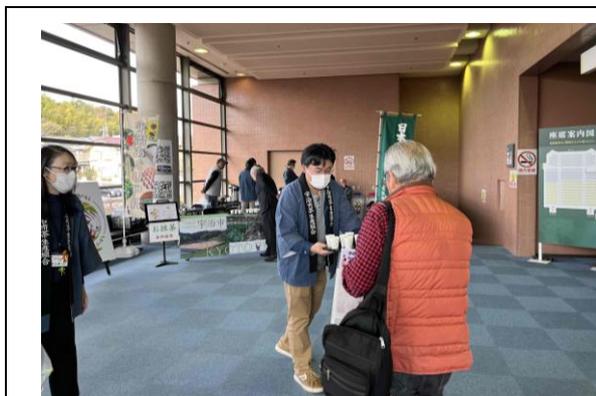
事業内容 ① 「やましろまつり」でのお茶の呈茶

実施日：11月5日(日)、場所：アスパアやましろ、接待数：2,600名

② 「山脊古道とことんウォーク」でのお茶の呈茶

実施日：11月19日(日)、場所：商工会山城支所前、接待数：600名

交付額等 交付額 97,000 円 (決定額 115,000 円、申請額 115,000 円)



宇治市茶生産組合
(近畿歴史まちづくりサミット)



京都文教大学
(縁庵マルシェ)

2 選考の上、助成する事業

(1) 宇治茶の郷づくり協議会に対する助成

- ア 対象団体：宇治茶の郷づくり協議会（会長：堀井長太郎京都府茶業会議所会頭）
イ 助成額：100万円
ウ 助成理由：当該団体は、幅広い行政、農業団体等により構成され、宇治茶を柱とした地域の振興や宇治茶文化の継承等を目的とした事業を実施していることから、公募方式をとらず助成金額等を決定した。

(2) 京都府茶業研究所が実施する企業、大学等との共同研究に対する助成

- ア 研究課題名：玉露の消費拡大に向けた新たな飲み方の開発
(研究期間：令和4年～令和6年)
イ 共同研究機関等：京都府立医科大学
ウ 助成額：100万円
エ 令和5年度試験研究項目：玉露の新たな飲み方提案のための製造方法の開発
オ 成果：
玉露を界面前進凍結濃縮後、濃縮冷凍キューブを作成し、HPLC 分析を行った結果、濃縮冷凍キューブに含まれるテアニンおよび EGC g 成分が2～3 倍に濃縮されていることを確認した。
また、濃縮冷凍キューブを2倍希釈して飲用する時はテアニン濃度が濃縮前より約1.5倍になることが分かった。濃縮冷凍キューブの官能検査により2倍希釈が良いという結果になった。しかしながら、濃縮前の「覆い香味が薄かった」。ことから、次年度以降は玉露抽出方法の検討が必要である。

【IV (公社)京都府茶業会議所の組織強化】

1 理事会、専門委員会の定例的開催

「より開かれた京都府茶業会議所」を目指すには、広く意見を集め、活発な議論をしていくことが大切との認識から、令和5年度は2回の理事会及び専門委員会を開催し、重要・懸案課題の解決に当たったところです。

< 専門委員会開催実績 >

専門委員会名	開催回数	主な議題等
企画総務	0	
茶生産対策	1	○ 両委員会の事業について ○ 製造加工費の高騰について
茶流通対策	1	○ 地理的表示(G I)登録制度 ※合同委員会として開催
普及啓発	1	○ オンライン事業について ○ リアル事業について
選考	1	○ 令和4年度宇治茶振興助成事業 事業実績報告について ○ 令和5年度宇治茶振興助成事業について

2 茶業功績者に対する表彰

長年茶業振興に尽力された次の方々については、当会議所として会頭表彰した他、関西茶業協議会の茶業功労者表彰、(公社)日本茶業中央会の茶業功績者表彰をそれぞれ受賞されました。

(1) (公社)京都府茶業会議所 茶業功績者表彰

奥谷善巳 様 森田治秀 様 吉川良紀 様

(2) 関西茶業協議会 茶業功労者表彰

関西茶業協議会主催により関西茶業振興大会が開催され、表彰式等は各府県で行われたことから、功労者表彰は執り行われませんでした。

(3) (公社)日本茶業中央会 茶業功績者表彰

林 善嗣 様

3 説明会等の開催

(1) インボイス制度の説明会

開催日：令和5年4月4日(火)

場 所：宇治茶会館

内 容：インボイス制度の概要、インボイス制度の全農京都茶市場の対応

参加者：90名（来場40名、オンライン50名）

(2) ハラスメント講習会

開催日：令和6年2月14日(水)

場 所：宇治茶会館

テーマ：「お互いが働きやすい職場に お互いを尊重し合える社会に 今必要なアンガーマネジメントの視点」

講 師：久野孝希（日本アンガーマネジメント協会公認講師、MEBUKULINK 代表）

参加者：33名